

平成 13 年 3 月 15 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 2 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	: 平成 13 年 2 月 13 日
	京大調査	: 平成 13 年 2 月 22 日 (実施機関: 京都大学)
調査海域	伊勢湾	
		別図「流況調査 測点」参照
		京都大学調査分は別図「調査測点(京大)」参照
調査船	測量船「いせしお」	(京都大学実施分は用船)
現地調査員	水路部水路課専門官	米須 清
	“ “ 海象係長	木村 琢磨
	測量船「いせしお」船長	山本 常夫
	“ “ 機関長	石原 信雄
	“ “ 航海士補	渡部 千尋
	“ “ 機関士補	福島 力
調査項目	流況調査	: 水温・塩分
資料整理	海象係長	木村 琢磨

2 観測経過

2 月 13 日は、測点 1 から順番に観測を実施した。測点 4 付近から測点 7 にかけて海上模様が悪化してきたが、全測点の観測を実施することができた。
2 月 22 日は、京都大学が用船を使用し、全 18 測点の観測を実施した。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

2月13日

水温： 全体的にほぼ平年並みであった。

塩分： 全体的に平年にくらべ1程度低かった。

2月22日（京都大学実施分）

伊勢湾北部に重点をおいて観測を実施した。

水温： 表面は、北部・三重県側沿岸・知多半島沿岸部が平年にくらべ1程度高かったが、その他の地点はほぼ平年並みであった。

10m層は、北部から三重県側沿岸が平年にくらべ1程度高かったが、その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

底層は、北部から三重県側沿岸及び知多半島沿岸南側が平年にくらべ1程度高かった。

塩分： 全体的に平年にくらべ1程度低かった。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。